

生涯教育研修会報告書

学発番号 第11-044号

日時：平成23年9月27日（金）19:00～20:30

場所：京都保健衛生専門学校 視聴覚室

主題：感染管理に役立つ集計法

講師：岡村 恵美、河合 示枝古 先生

講師所属：京都桂病院、（株）いかがく

報告者：河合 示枝古

所属：（株）いかがく

分類：20点

全体参加人数：17人

京臨技のみ所属会員参加人数：

以下、講演内容など

今回の集計をテーマにした研修会では、事前に京都府臨床検査技師会のHPから研修会用仮想エクセルデータをダウンロードし、課題を行ってから参加するスタイルで、4題の課題について、説明と実演を繰り返す方法で進められた。

4課題は、①頻出分離菌検索（TOP10）、②耐性菌リスト作成（MDRP・PRSP）、③病棟別MRSA検出数（表・グラフに表示）、④アウトブレイク調査という内容であった。集計を行うにはデータベース作成から始まる。データベース作成時は表記方法の統一されていないと、データが正しくカウントされず、注意が必要である。集計の方法はエクセルの機能の1つであるピボットテーブルを中心に、フィルタなどその他の機能を活用して行われた。検査依頼時の注意点や、院内感染管理の際に必要な耐性菌チェックにおいて、見落としとしてはならない感染症や微生物等の解説も付け加えられた。

（ 報告者 河合示枝古 ）